



新潟教育会報

第99号

公益財団法人 新潟教育会

(新潟教育会館内)

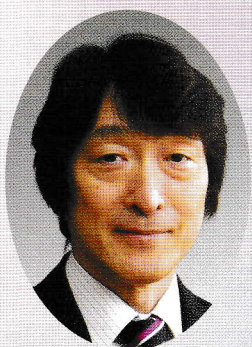
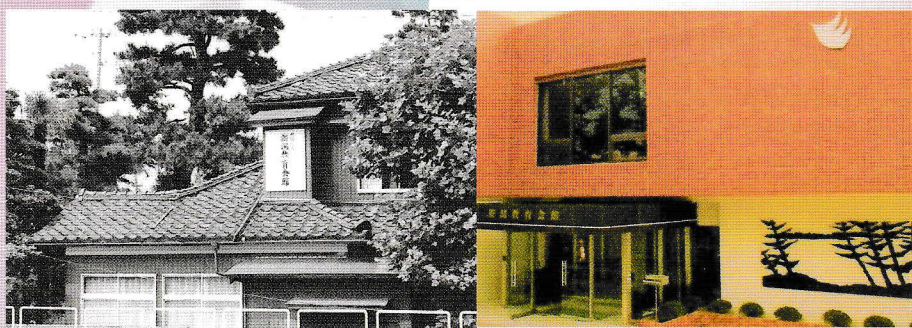
〒951-8104 新潟市中央区西大畑町590番地3号

TEL・FAX:025-222-2971 E-mail: jimu@kyouikukai.jp

新潟教育会館 旧館と新館

(左) 設立当初の会館
(昭和48年)

(右) 新装時の会館
(昭和57年)



代表理事
高橋 恒彦

設立50年の節目を祝い 今後の教育を展望する年に

当会は、昭和47年4月1日に「本県教育の振興への寄与を一層拡充するために、寄附財産の適切な保全と活用をはかり、教育振興の諸事業を将来にわたって永続的に行う。」という趣旨で設立されました。以来、夏季大学講座や教育美術展の開催、教育相談研修、特別支援教育への助成、教育資料の収集・公開などの事業を継続発展

させてまいりました。また、平成24年には「公益財団法人」に移行し、公益性を拡大し、今年度で設立50周年、公益財団法人移行10周年となります。

あらためまして、当会の設立や運営に尽力されてきた先達の皆様、当会を温かく支えてくださった皆様、当会の事業にご協力をいただきました皆様に、心より感謝申し上げます。

超スマート社会 (Society 5.0) を迎え、社会は目まぐるしい速さで変化を続けています。学校現場においても、子どもたちがタブレット端末を活用して追究活動に取り組むなど、授業の風景は大きく様変わりしています。しかしながら、互いを信頼し、自らの気付きや考えを出し合い、協働的に学びを深めていく子どもの姿や、温かい眼差しで子ども一人一人を見とり、深い学びへと導いていく教師の姿は、昔も今も変わることなく教室にしっかりと根付いています。「いかに社会が変化しようとも変えてはならないものは何か。」「社会の変化とともに変えなければならないことは何か。」

節目の年を迎えるにあたり、7月30日(土)に記念事業を計画いたしました。当日は、これまで当会を支えてくださった皆様に感謝するとともに、新潟の未来と新たな時代に向けた方向を皆様と共に考えてまいりたいと思います。

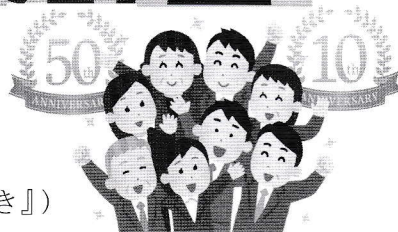
皆様の多大なご支援とご指導をお願い申し上げます。

令和4年度の事業計画

1 周年事業（兼：夏季大学講座）

財団法人設立50周年・公益財団法人移行10周年を記念して記念事業を開催します！

- ・期日：7月30日(土) 会場：朱鷺メッセ・国際会議室
- ・内容：式典、記念講演(講師 宮田亮平様 タイトル『ときめきのとき』)
記念パネルディスカッション
(渋谷修太様、小見まいこ様、五十嵐健太様 テーマ『新しい時代の人づくり・絆づくり』)



2 研修講座

(1) 教師力アップ講座

最新の教育課題への対応理論と指導方法を学ぶ講座です。

- ・期日：7月16日(土) ・会場：新潟教育会館
- ・内容：第1講座 「保護者との良好な関係を築く教師のかかわり方」
講師 古田島 真樹 様 アシスタント 中島 崇 様
第2講座 「GIGA時代に求められる学びとこれから」
講師 高橋 恒彦 様 講師 五十嵐 健太 様



(2) 第47回 教育相談研修会

子どもとの信頼関係の確立や子ども理解の力量を高めるための教職員の研修会です。
また、保護者の研修活動に講師を派遣します。

- 教職員研修会 ・期日：8月5日(金：1日)・6日(土：午前)の1. 5日開催
・会場：新潟ゆいぽーと（元新潟市立二葉中学校）
- 保護者のための「子育て出前講座」
・要請に応じて講師を派遣します。

3 教育アドバイザーの派遣

要請に応じて、豊かな経験と知識、技能をもつ教育アドバイザーを教職員や保護者等の研修活動に派遣します。謝礼(1回分)を新潟教育会が負担します。団体研修、個人研修でも派遣は可能です。リモートによる研修にも対応します。

4 第24回新潟教育会美術展（教美展）

新装オープンした新潟県民会館にて、3年ぶりに開催します。力作の作品の展示に、乞うご期待を！

- ・日時：11月22日(火)～28日(月) 9：30～17：00（28日は15：00まで）
- ・会場：新潟県民会館 ギャラリーA

5 特別支援教育への助成

特別支援教育で成果を挙げている学校に5万円の助成を行います。助成校の取組は、会報等で紹介します。

6 『教育研究論文集』の発行

教職員の研究意欲と資質・能力の向上を目指し、優れた教育研究実践とその成果を紹介します。今年度は、発行の年です。

7 教育会館施設・設備の利用促進と資料室の整備

研修や教育・文化活動のための教育会館施設・設備の利用促進に努めます。Wi-Fi環境が整いましたので、リモート研修等のホスト会場としても利用可能です。資料室の書籍やデータの整理も進めています。

8 教育会・研究所活動に関する情報の発信

『新潟教育会要覧』『新潟教育会報』『新潟教育研究所報』『新潟教育会ホームページ』等により、最新の情報をお届けします。

上半期 新潟教育会事業 PR

上半期で注目の事業は、
7・8月に開催する**次の3事業**です！
たくさんの方の
参加をお待ちしています！

1 周年事業



このQRコードより
参加申込みができます！

今年度の**お勧め事業No.1**は、**何と言っても周年事業**です！
昭和47年に財団法人として設立が認可された当会は、今年で
設立50年目。また、公益財団法人への移行の認可を受けて10
年目の節目の年を迎えています。

この節目の年を祝い、会を立ち上げ、維持発展させてこられた
先輩諸氏の思いを胸に、新潟の教育発展に向けて決意を共にしま
しょう！

記念講演、記念パネルディスカッションでは、“新潟愛”に満ち
あふれた方々が登壇し、私たちに御示唆を与えてくださいます。
たくさんの方からの参加申込みをお願いします！

2 教師力アップ講座



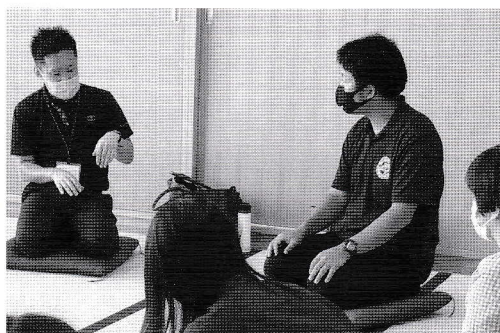
今、学校教育における喫緊の課題とは何でしょうか？
その1つに、小学校における学級の落ち着かない状況へ
の対応、小・中・高等学校でのいじめや不登校などへの
対応等が挙げられると思います。これらの対応には、
児童生徒の心の理解が必要です。同時に、保護者の思い
をしっかりと理解することも大切となります。コロナ禍の
影響で保護者と言葉を交わす機会が減ってきている今だ
からこそ、保護者とのかかわり方を考える時であると捉
えています。

第1講座では、このことについて深く学びます。

GIGAスクール構想に向けての取組が着々と進んで
います。私たちは、この取組を教育の発展につなげてい
かなくってはなりません。そのためには、児童生徒にとっ
てもっともっと有効な学びの手段になるよう指導方法と
しての磨き上げが必要となります。

第2講座では、昨年度に引き続き、このことについて
の学びを深めます。

3 教育相談研修会



「生徒指導は、児童生徒理解に始まり、児童生徒
理解に終わる」と言われます。それだけ、児童生徒
理解が重要であると分かってはいますが、いざ面談
するというときに、「どうしたらいいんだろう？」
「なかなか本音を聞き出せない…」という状況が
起きてしまいます。「そもそも教育相談とは何か」
「どういう知識や技能が必要なのか」といった悩みに、
即回答が出る実技主体の体験型研修会です

これからのすべての教職員に必要とされる教育相
談の力量を高め、児童生徒の理解を深めることで、
児童生徒の成長と課題の解決に向けた適切な働き掛
けができるようにしたいですね。

2の第1講座とセットでの受講をお勧めします。

※ 1～3の案内チラシがお手元に届いていると思います。ぜひ、ご覧になり、参加申込みを
検討してみてください。きっと有益な研修になることでしょう。

周年事業まで、あと1か月半に迫る!

……それを見出すことが、
教育の根源ではないか!

新しい時代の
人づくりは……



5月10日に、第5回周年事業実行委員会を開き、来る7月30日(土)に開催する式典、記念講演、パネルディスカッションをはじめとする事業運営の細部について審議を進めました。

記念講演をいただく宮田亮平様からは、当事業への熱いメッセージをいただきました。

また、3人のパネリストの皆様とも、ディスカッションに向けた打合せを進めています。3人の皆様の“新潟愛”はとても強くて深いものです。また、これからの社会で必要とされる“人と絆”について確かな考えをおもちです。

実行委員、事務局一同、「ぜひ、たくさんの皆様から講師ならびにパネリストのお話を聴いていただきたいな」という思いを強くしています。

令和4年度 新潟教育会役員

代表理事 高橋 恒彦

理事 森 正司

脇野 哲郎

熊倉 達也

村川 孝子

吉田 隆

監事 小林 修

宮内 章

鷺津 毅史

評議員 池野 正晴

岸本 卓也

斎川 英子

山岸 修

荒木 一成

小野 真

堀 隆行

森 弘志

山際 貴子

大橋 伸夫

高橋 節子

小海 信幸

事務局 逢坂 健太郎

吉原 修英

宮川 由美子

樋口 光栄

幹事 中原 広司

山田 耕世

大岩 樹生

舘岡 信也

あとがき

長期にわたる新型コロナウイルスの感染拡大や混沌とする世界情勢の影響が様々なところで学校教育にも及んでいます。この先も続く可能性は否定できません。しかし、人はピンチをチャンスに変える力をもっています。これまで取組が停滞していたことや考えてもみなかったことを実現できるチャンスでもあります。今やリモートでの会議や学習は当たり前です。ハイブリッドも可能です。

さて、お次はなんでしょうか。設立50周年を迎えた新潟教育会においても、様々なピンチをチャンスに変える意識をもって会の運営に当たっていきます。